

NDR

NDR
Elbphilharmonie
Orchestra

Elbphilharmonie Orchestra Alan Gilbert, Conductor



NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団 指揮：アラン・ギルバート



ピアノ：エレーヌ・グリモー
Hélène Grimaud, Piano

2018年**11/2**(金)19:00
サントリーホール

Friday, November 2, 2018 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番 ト長調 op. 58
Beethoven: Piano Concerto No. 4 in G major op. 58

ピアノ：エレーヌ・グリモー
Hélène Grimaud, Piano

ブルックナー：交響曲第7番 ホ長調
Bruckner: Symphony No. 7 in E major

2018年**11/4**(日)14:00
サントリーホール

Sunday, November 4, 2018 at 2 p.m. Suntory Hall, Tokyo

ワーグナー：オペラ「ローエングリン」から 第1幕への前奏曲
Wagner: "Lohengrin" Prelude to Act 1

マーラー：交響曲第10番 嬰へ長調から アダージョ
Mahler: Adagio from Symphony No. 10 in F-sharp minor

ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 op. 98
Brahms: Symphony No. 4 in E minor op. 98

S¥20,000 A¥16,000 B¥12,000
C¥9,000 D¥5,000 プラチナ券¥25,000

名前は変われど核は変わらず——名匠ギルバートとNDRエルプフィルの絆が生む、鍛えられた重厚と精緻

ハンブルク北ドイツ放送交響楽団からNDRエルプフィルハーモニー管弦楽団(NDR)へ。

ハンブルクに近代的デザインで世界的話題にもなった新ホール、「エルプフィルハーモニー」が完成し、そこを本拠としたがための改名です。ホールが変わればオーケストラの音も変わる。音作りをする場が変われば自明のことで、ホールもまた楽器。

言うことが矛盾するようですが、創設以来、ドイツの名だたる巨匠たちに育まれたNDRの音の「核」は変わりません。北ドイツの気候の厳しさに耐える、実直で重厚で引き締まった音。そして技術的優秀。同じドイツでいえば、ベルリン・フィルもゲヴァントハウス管も新しい指揮者の就任によって表面上の音の変化はありましたが、やはり核は変わらない。これがオーケストラのDNAの不思議であり魅力です。

この30年ほどでも、NDRは、ヴァントやブロムシュテット、ドホナーニらと共に演奏してきたベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー等でドイツ屈指の不動の演奏を確立し、ヘンゲルブロックという鬼才が首席指揮者になってからは、HIP(Historical Informed Performance)の積極的実践によって、どんな種類、どんな時代の音楽にも対応できる柔軟性を獲得しました。

ところで、今度の来日公演で指揮をするアラン・ギルバートは知っての通り、昨シーズンまでニューヨーク・フィルの音楽監督として名を馳せましたが(近年では東京都響への客演指揮でも人気)、それよりずっと前(2004年)からNDRの首席客演指揮者であり、その双方が信頼しあった真摯な演奏を、日本でも2005年に披露しています。2019年からはいよいよ首席指揮者に就任しますので、色々な意味で新しい、ギルバート&NDRの来日公演。真っすぐに精密、かつスケールの大きいブラームスやブルックナー、マーラーの演奏にぜひご期待ください。

NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団 NDR Elbphilharmonie Orchestra



1945年創立。2017年に新ホールで本拠となるエルプフィルハーモニーが建ったことで、ハンブルク北ドイツ放送響から現在の名に改称された。北ドイツ

らしい、堅固で精緻な名楽団の性格を決定づけたのは初代首席指揮者イッセルシュテットで、その後の首席のヴァントやドホナーニら、またフルトヴェングラーやベームら客演した歴史的指揮者によってそれは伝統として継承されていった。2011年から首席指揮者を務めるヘンゲルブロックにより、楽団は多様な柔軟性を増し、2019年シーズンからはこれまで首席客演指揮者であったアラン・ギルバートがこの任を引き継ぐ。

アラン・ギルバート(指揮) Alan Gilbert, Conductor



©Peter Hunder

2009年から17年までニューヨーク・フィルの音楽監督を務め、ベルリン・フィルやロイヤル・コンセルトヘボウ管などにも定期的に客演する、現代を代表する指揮者のひとり。2018年から東京都響の首席客演指揮者、19年からは首席客演指揮者だったNDRエルプフィルの首席指揮者に就任する。ニューヨーク・フィル時代は、意欲的なステージ・プロダクションや現代音楽作品のシリーズの立ち上げなど、同地における芸術活動を広げる尽力が大いに評価された。

エレーヌ・グリモー(ピアノ) Hélène Grimaud, Piano



エクサンプロヴァンスに生まれ、全員一致の推薦でパリ音楽院に入学。1987年、多くの音楽祭へのデビューやパリ管へのデビューなど一大転機を迎え、以来サロネン、ドホナーニ、アシュケナージらの指揮のもと、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、ボストン響などと共演を続けている。主要都市でのリサイタルも多い。意欲的な演奏は絶えず聴衆の注目を集めている。録音はドイツ・グラモフォンと契約。2000年にフランス文化省から芸術文化勲章オフィシエに叙せられた。

エレーヌ・グリモー 水をテーマにした「音楽」と「自然」を繋ぐコンセプト・アルバム。 ウォーター

- ①ペリオ:水のピアノ/②ソニー:ウォーター—トランジション1
- ③武満徹:雨の樹 素描Ⅱ/④ソニー:ウォーター—トランジション2
- ⑤フォーレ:舟歌 第5番/⑥ソニー:ウォーター—トランジション3
- ⑦ラヴェル:水の戯れ/⑧ソニー:ウォーター—トランジション4
- ⑨アルベニス:アルメリア/⑩ソニー:ウォーター—トランジション5
- ⑪リスト:エステ荘の噴水/⑫ソニー:ウォーター—トランジション6
- ⑬ヤナーチェク:霧の中で 第1曲/⑭ソニー:ウォーター—トランジション7
- ⑮ドビュッシー:沈める寺

エレーヌ・グリモー(ピアノ)①③⑤⑦⑨⑪⑬⑮
ライヴ録音:2014年12月 ニューヨーク・パーク・アヴェニュー・アーモリー
ニティン・ソニー(作曲・プロデューサー)②④⑥⑧⑩⑫⑭⑯ 録音:2015年夏 ロンドン
SHM-CD ● UCCG-1731 定価 ¥2,600(税抜価格)+税



ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 ピアノ・ソナタ第28番

(ボーナス・トラック)
ピアノ・ソナタ第14番《月光》第1楽章
エレーヌ・グリモー(ピアノ)
録音:2006年12月、2007年7月
SHM-CD ● UCCG-6243
定価 ¥1,600(税抜価格)+税



▼ Access Here



発売・販売元:ユニバーサル ミュージック <http://www.universal-music.co.jp/classics/>
ユニバーサルミュージックストアから商品が購入できるようになりました! (一部商品を除く) <http://smarturl.it/um-classics>
ニュースレター会員登録中! 無料で最新情報を! <http://umusic.ly/umnews>

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。
0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 110-854)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

twitter @kajimoto_News

facebook
YouTube

“kajinomusic”で検索!

@kajinomusic

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売:
5/27(日)10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 5/18(金)12:00~5/21(月)18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。